

災害時、町のホームページやテレビ、ラジオ等で最新の避難情報や防災情報を確認しましょう。また、平常時から、いざという時の安否確認手段を家族で共有しておきましょう。

避難情報の入手経路

避難情報や防災情報は、さまざまな方法で町民の皆さんに伝えられます。複数の情報を確認するよう心がけてください。



町民の皆さん

- 松伏町** 公式ホームページ・マップメール・twitter、防災行政無線、広報車、テレビのデータ放送サービス(NHK・テレ玉)、緊急速報メール(エリアメール)、テレドーム
- 共助** 自治会、自主防災組織連絡網、消防団による各戸訪問
- 消防・警察** 消防署(消防車)、警察署(パトカー)
- 情報通信メディア** テレビ、ラジオ、防災関係機関のホームページ、携帯電話会社の災害・避難情報配信

松伏町が発信する情報の入手方法

◆松伏町公式ホームページ

<http://www.town.matsubushi.saitama.jp>
松伏町の情報はまずはこちらをチェック!



◆松伏町公式SNS

ツイッター…… 名前: 松伏町
ユーザー名(ID): @town_matsubushi
フェイスブック… 名前: 埼玉県松伏町
ユーザー名(ID): @town.matsubushi

◆マップメール(松伏町メール配信サービス)

防災・防犯情報、生活情報、イベント情報など希望する情報を配信します。右記の二次元コードを読み取るか、t-matsubushi-mail@sg-m.jpに空メールを送信してください。



県・国が発信する情報の入手方法

◆埼玉県

危機管理・防災・防犯等 彩の国の安心・安全
<https://www.pref.saitama.lg.jp/theme/anzen/index.html>
埼玉県内の避難情報や天候等の情報



◆埼玉県防災情報メール

事前登録が必要です。気象情報や避難情報、避難所情報を入手できます。



◆埼玉県 川の防災情報メール

事前登録が必要です。埼玉県が管理する河川水位情報や、土砂災害の情報が配信されます。



◆まいたま防災アプリ

埼玉県公式のスマートフォンアプリです。埼玉県の防災マニュアルブック「イツモ防災」や、非常時の緊急情報を確認できます。



◆国土交通省 川の防災情報

<https://www.river.go.jp/>
全国の河川の雨量や水位等の情報



◆気象庁

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>
全国の天候や気象情報、気象データ等



◆キキクル(危険度分布)

https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=rain_level&area_type=japan&area_code=010000
地域の土砂・浸水・洪水災害への危険度を表示



◆土砂災害警戒判定 メッシュ情報

<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>
土砂災害発生危険度の判定結果



災害時の音声での連絡方法

◆災害用伝言ダイヤル(171)(※)

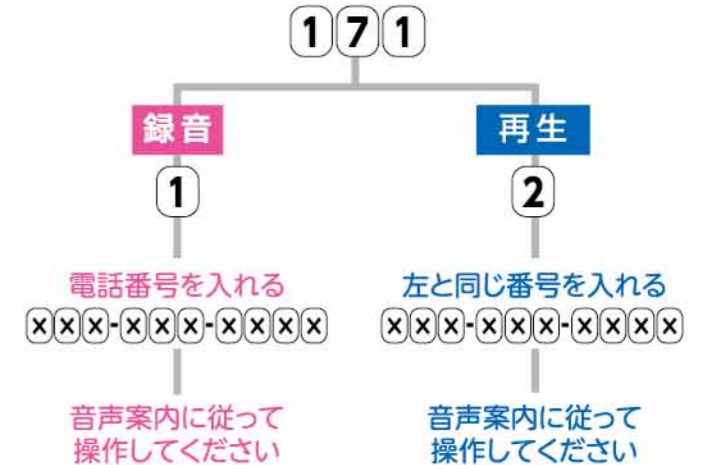
災害用伝言ダイヤルは、被災地域内やその他の地域の方々との「声の伝言板」です。被災地の方が録音した安否などに関する情報を他の地域の方がお聞きになれるほか、他の地域の方から被災地の方へメッセージを送ることも可能です。

◆公衆電話

災害時、公衆電話は一般回線より優先的に回線が確保され、また、災害時に被災地では無料で使える場合があります(国際電話は使えません)。公衆電話設置場所検索(NTT東日本)は右記の二次元コードからできます。



災害時でも、被災地から被災地以外の場所への電話は比較的つながりやすいと考えられます。遠隔地の親せきや友人などを経由して情報交換ができるように連絡中継点を決めておきましょう。



被災地域の方は自宅の電話番号を、連絡を取りたい方は被災地域の方の電話番号を、市外局番から入力してください。

災害時の文字での連絡方法

◆災害用伝言板(web171)(※)

災害用伝言板(web171)は、インターネットを利用した安否確認伝言板です。パソコン、スマートフォン、携帯電話等、インターネット接続が可能であれば、どの端末でも利用できます。

<https://www.web171.jp>へアクセス、もしくはweb171で検索してください。

※携帯電話・PHS・加入電話・ISDN・ひかり電話・IP電話等、全ての電話番号で登録が可能です。

◆災害用伝言板(携帯電話会社のサービス)(※)

携帯電話会社の災害用伝言板に自分の安否情報を登録し、その情報を全国から閲覧できる携帯電話会社のサービスです。登録は自分が契約している携帯電話会社の伝言板のみですが、閲覧はパソコンや他社の電話からも出来ます。

◆携帯電話・スマートフォンのメール

携帯電話やスマートフォンは通話よりもメールが有効です。災害時は相手に届くまでに時間がかかる場合があります。また、使用機会が増えると電池が激減する上に、長時間の停電で充電できずに電池切れになることもあります。日頃からモバイルバッテリー等を持ち歩く習慣をつけましょう。



◆パソコンのEメール

東日本大震災では、電話が使えない状況の中でも、パソコン(インターネット)を使ったEメールは比較的届きやすかったと言われています。停電時に使用できない場合もあるので、他の連絡手段も準備しておきましょう。



※印の「災害用伝言ダイヤル(171)」、「災害用伝言板(web171)」、「災害用伝言板(携帯電話会社のサービス)」は、それぞれで登録された伝言内容を相互に確認できます。
また、これらのサービスは平常時は利用できませんが、毎月2回など体験利用ができる期間があります。

- 災害用伝言ダイヤル、災害用伝言板の体験利用期間
- 毎月1日・15日
 - 正月三が日(1月1日~1月3日)
 - 防災週間(8月30日~9月5日)
 - 防災とボランティア週間(1月15日~1月21日)